

2005年度第3四半期 決算説明会

2006年2月10日

川崎汽船株式会社

1. 2005年度第3四半期決算概要

(単位: 億円 四捨五入)

		2005年度 上期	2005年度 第3四半期	2005年度 9ヶ月累積	2004年度 9ヶ月累積	増減額 (増減率)	中間決算時 公表値	増減額 (増減率)
売上高	連結	4,548	2,343	6,890	6,220	+670(10%)	6,908	-18(0.3%)
	単体	3,629	1,878	5,508	4,958	+550(11%)	5,509	-1(0.0%)
営業利益	連結	502	190	692	859	-166(-19%)	692	+0(0.0%)
	単体	351	127	479	669	-190(-28%)	486	-7(-1.4%)
経常利益	連結	496	199	695	858	-163(-19%)	681	+14(2.0%)
	単体	359	134	493	685	-192(-28%)	499	-6(-1.2%)
当期純利益	連結	349	157	506	463	+43(9%)	494	12(2.4%)
	単体	228	110	337	372	-35(-9%)	338	-1(0.3%)
為替レート	平均	¥109	¥116	¥112	¥109	¥3安 (-2.9%)	¥110	¥2安
バンカー価格	平均	\$261	\$302	\$275	\$188	\$87高 (+46.1%)	\$274	\$1高

2. 2005年度第3四半期業績の要点

(経常利益: 前回公表681億円、前年同期858億円 今期695億円)

損益変動要因	対前回公表比	対前年同期比
為替変動	18	27
バンカー変動	2	176
市況変動	12	32
営業規模拡大	6	26
合理化・コスト削減	4	26
その他	0	34
合計	14	163

3. 部門別業績の概要 (コンテナ船)

連結売上高: 3,372億円、連結経常利益: 283億円

(前年同期比: 増収、減益)

- 営業規模拡大
北米北西岸、東岸サービス増強が寄与
積高: 198万TEU (前年同期比 + 6.3%増)
- 運賃率
アジア域内、大西洋では運賃修復を達成
北米航路や南北航路は略2004年同時期の運賃レベルで推移
欧州航路は若干程度の下落。
- コスト削減効果 (25億円) 減速航行による消費燃料の削減
- 収支悪化要因
傭船料高、燃料油価格高騰

4. 部門別業績の概要 (不定期専用船)

(撤積船)

- 新造船竣工で営業規模拡大
 (稼動延トッ:115.7百万トッ、前年同期比+4.6%増)
- 運賃市況下落により収益低下

バルク市況 (太平洋ラウンド)	2004年度	2005年度		
	第1-3四半 期平均	第1-3四半 期平均	第3四半期	中間時下 期見込
170型	\$63,611	\$38,778	\$41,667	\$44,000
74型	\$32,661	\$18,417	\$18,083	\$22,000
45型	\$24,839	\$16,678	\$15,633	\$20,000

5. 部門別業績の概要 (不定期専用船)

(自動車船)

- ・輸送量増加：三国間航路（大西洋、タイ出し豪州向け等）
- ・収支悪化要因：燃料油高騰・用船料高、船舶経費増加

自動車輸送台数	2004年度 第1-3四半期実績	2005年度 第1-3四半期実績	増減
北米向け	46万台	44万台	-2万台
欧州向け	18万台	16万台	-2万台
その他往航	27万台	31万台	4万台
復航	14万台	10万台	-4万台
三国間他	88万台	98万台	10万台
合計	194万台	200万台	6万台

* 三国間他に欧州域内輸送台数を含む

6. 部門別業績の概要 (エネルギー-資源輸送)

エネルギー-資源輸送: 前年同期比横ばい

- 液化ガス運搬船: 各プロジェクト共順調に進捗
5、10、11月にラスガス 向け新造船3隻竣工、合計29隻
- 電力炭: 基本船隊15隻安定稼働、滞船緩和、効率配船
(積高982万ト 1,008万ト+2.6%増)
- 油槽船: 一時的に軟化するも、堅調な石油需要を享受
AFRAMAXの安定的稼働
(稼働延ト2205万ト 2273万ト+3.1%増)

油槽船市況 (WS)	2004年度	2005年度		
	第1-3四半期 平均	第1-3四半期 平均	第3四半期	中間時下期 見込
VLCC (中東/日本)	163	104	157	70
AFRAMAX (南方/豪州)	236	200	323	200
クーンLR (中東/日本)	241	246	330	200

7. 2005年度通期業績予想

		上期	下期	通期	中間期 公表値	増減率	2004年度 通期実績	増減率
売上高	連結	4,548	4,702	9,250	9,250	-	8,284	11.7%
	単体	3,629	3,721	7,350	7,350	-	6,587	11.6%
営業利益	連結	502	408	910	910	-	1,081	-15.8%
	単体	351	289	640	640	-	853	-25.0%
経常利益	連結	496	414	910	910	-	1,072	-15.1%
	単体	359	291	650	650	-	869	-25.2%
当期純利益	連結	349	291	640	640	-	599	6.8%
	単体	228	202	430	430	-	490	-12.2%
配当	単体	9円	9円	18円	18円	-	16.5円	9.1%
為替レート	平均	¥109	¥117	¥113	¥110	2.7%安	¥107	2.8%
バンカー価格	平均	\$261	\$305	\$283	\$280	1.1%高	\$192	45.8%

8. 2005年度通期業績予想の要点

(経常利益: 前回公表910億円、前期1072億円 今期910億円)

損益変動要因	対前回公表比	対前期比
為替変動	36	66
バンカー変動	8	246
市況変動	38	88
営業規模拡大	6	76
合理化・コスト削減	4	54
その他	-	24
合計	0	162

9. 部門別予想のポイント

(コンテナ船)

荷動き：旧正月等季節的要因あるが各航路で底堅い
 需給バランス：引き締まった状態、一部航路で緩む
 コスト削減：減速航行により燃料消費量の削減
 サービス改編：地中海航路サービス増強

(不定期船)

バルク市況 (太平洋ラウト)	2005年度			
	上期実績	下期見込	通期見込	中間時下期見込
170型	\$37,333	\$39,333	\$38,333	\$44,000
74型	\$18,583	\$19,250	\$18,917	\$22,000
45型	\$17,200	\$17,233	\$17,217	\$20,000

(油槽船)

油槽船市況(W/S)	2005年度				
	上期実績	第1-3四半 期平均	下期見込	通期見込	中間時下期見込
VLCC(中東/日本)	78	104	150	114	70
AFRAMAX(南方/豪州)	138	200	257	198	200
ク-OLR (中東/日本)	203	246	285	244	200

10. 主要財務指標

	2004年度 通期実績	2005年度 上期実績	2005年度 通期見込
営業 C F (減価償却額)	894億円 (246億円)	325億円 (134億円)	720億円 (254億円)
投資 C F	344億円	588億円	950億円
投資内訳	344億円	588億円	950億円
船舶関連	547億円	511億円	910億円
その他	189億円	122億円	190億円
資産処分(注)	392億円	45億円	150億円
フリー C F	550億円	263億円	230億円
株主資本	1813億円	2246億円	2500億円
有利子負債残高	2392億円	2756億円	2750億円
R O E	39.6%	34%	30%
R O A	18.4%	15%	14%
株主資本比率	30%	32%	34%
D E R 比率	132%	123%	112%

ポイント:

営業CF: 業績下方修正により若干落ち込み

投資CF: 新造船の追加・前倒し発注による契約時払いの増加

結果として有利子負債増加。DERの改善度も鈍る。

総資産増加に伴い、ROAも低下。

11. コスト削減運動

2005年度見込み:54億円

(単位:億円)

コストセーブ項目	上期	下期	通期
船費・傭船料削減	2	4	6
運航費削減	13	16	29
サービス改編・合理化効果	1	1	2
関係会社営業関連費用削減	1	4	5
一般管理費削減	1	2	3
機器費・空コン費削減	4	6	10
合計	22	32	54
(部門別内訳)			
コンテナ船事業部門(含む海外)	18	22	40
他事業部門(含む海外)	2	4	6
関係会社他	2	6	8